

ちいきのわ

発行 豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室

団体がつながれば活動も充実……P1
地域団体の活動事例の紹介……P2/3
NPOの活動事例の紹介……P4

上野フェスタ



団体がつながれば活動も充実

小学校区で活動する地域団体や専門分野で活躍するNPOなどさまざまな団体が、住みよい豊中の地域づくりを支えています。活動を進める中で、同じ地域で活動する団体、あるいは同じ活動に取り組む団体が寄り合い、力を合わせることで、活動を充実させようとする取り組みも生まれています。どのようなきっかけで交流が始まり、また、どんな成果や課題があるのでしょうか。多くの団体の連携・協力を実践しているみなさんにお話を伺いました。



豊島地区のてしま祭り



新千里北町地区の自主防災訓練



野畑地区の夏祭り



豊中和太鼓まつり

行事の協力関係を継続的なつながりに

上野フェスタ実行委員会

平成5年(1993年)から、子どもと大人の交流の場として、地域の冬のお祭り「上野フェスタ」を開催しています。とんど焼きや昔あそびなどの伝統を再現して地域の子どもの伝えたり、独居老人の安否確認を同時に実施して声をかけあったりと工夫しています。参加者へのアンケートを行うことで、住民のニーズの把握に努め、趣向を凝らすことにより、毎回たくさんの人でにぎわう地域行事として親しまれています。

「上野の伝統行事として定着させていきたいと思っています。そのためにも、フェスタに参加する各団体の顔見知りの関係を活かして、これからの上野の町のことを皆で話し合う場を作っていくと、呼びかけていきたいと考えています」と、公民分館長の渡辺美代子さんは今後を期待しています。



構成団体等(各団体の上野地区団体が参加)
校区福祉委員会、公民分館、自治会、小学校、小学校PTA、女性防火クラブ、人権教育推進委員協議会、青少年健全育成会、老人会、民生・児童委員、婦人会ほか

力を合わせて住民のための活動を

野畑地域連絡協議会

団体どうしの仲がよく、横につながる仕組みを求め声が自然にあがってきたことから、連合自治会、公民分館、校区福祉委員会が中心となって平成22年(2010年)4月に結成。校区内の事業の調整や団体どうしの親睦を図る活動をしています。新たに、地域の記念行事等の慶弔費を協議会予算からまとめて支出することで、各団体の出費を抑える取組みも始めました。

代表の八木光男さんは、「地域イベントは、主催団体のための行事ではなく地域住民のための行事。いろいろな団体が手伝い、意見を言えるようにしたい。地域内の連絡調整ができるようになったのはいいが、逆に参加要請が増えてしんどいという声も聞くので、皆の意見を聞いて改善しながら活動を進めていきたい」と意気込んでいます。



構成団体等(各団体の野畑地区団体が参加)
校区福祉委員会、公民分館、自主防災会、小学校PTA、女性防火クラブ、青少年健全育成会、赤十字奉仕団、防犯協議会、民生・児童委員、連合自治会

まちの情報をすべての住民に届けたい

新千里北町自治連絡会

平成16年(2004年)から月1回の会議を行い、団体どうしが密に連絡を取り合っています。各団体の代表者は毎年交代するので、事務局を置いて実務に対応しています。連絡会の活動は、年3回の広報紙「北町だより」の発行をはじめ、自主防災訓練、各種募金のとりまとめなどです。

広報紙の発行部数は3千部。事務局が各団体から原稿を集めて編集し、ほぼ全戸に配布しています。千里文化センター「コラボ」の印刷室を利用することで、1回分の経費を約1万円に抑えています。

事務局長の水谷正さんは、「広く住民に情報提供して、まずは関心を高めてもらうことが大事。各団体の活動を大切にしながらも、この町の今後の方向性や活動の歩調をそろえていきたい」と語ります。



構成団体等(各団体の北丘地区団体が参加)
校区福祉委員会、公民分館、自治会、小学校PTA、地区会館運営委員会、防犯協議会

地域の未来を一緒に考え活動しよう

てしま連絡協議会

平成6年(1994年)、当時の公民分館や校区福祉委員会のリーダーの発案で発足した豊島地域の発展を考える懇談会を基盤に、平成8年(1996年)に14団体による「てしま連絡協議会」を設立。各団体の行事応援やメンバー交流など、相互の連携協力を進め、住民間の垣根を取り払うことにも努めてきました。「てしま祭り」はPTA行事も加わるなど、地域全体のお祭りとして充実を図り、毎年2千人以上の参加者でにぎわう「豊島名物」となっています。

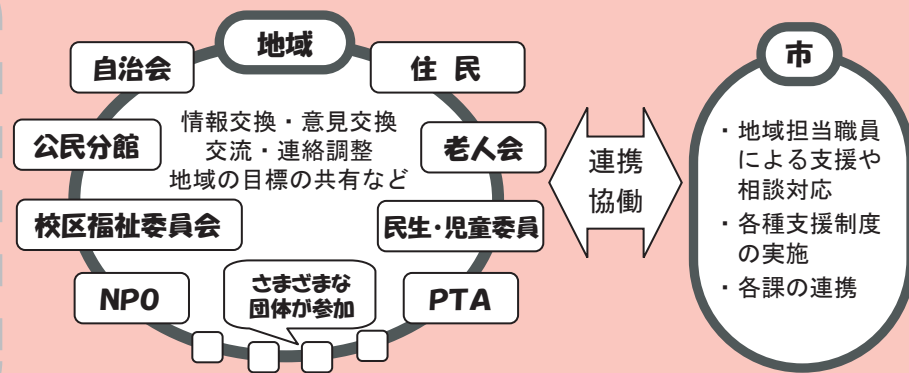
事務局の中川博史さんは、「お互いに顔の見える関係ができ、コミュニケーションも良くなり活動がしやすくなりました。次世代のリーダーやメンバーの発掘、自治会の組織率向上が今後の課題です。まずは、参加しやすい雰囲気、参加してみたいと思う企画づくりから、皆で考えていきたい」と話しています。



構成団体等(各団体の豊島地区団体が参加)
校区福祉委員会、公民分館、小学校、小学校PTA、消防団、女性防火クラブ、人権教育推進委員協議会、水利組合、スポーツ・レクリエーション振興会、青少年健全育成会、青少年指導ルーム指導員、赤十字奉仕団、防犯協議会、民生・児童委員

地域課題セミナー
「みんなが笑顔になる地域活動って？」

- ①いろいろな団体と「一緒にやってみよう！」
(豊島地区、上野地区の事例を紹介します)
とき 平成22年12月13日(月) 18:30-20:30
ところ ルシオーレホール(阪急蛸池駅西側)
- ②人材発見&育成のために「私ができること」
とき 平成23年1月22日(土) 9:45-12:00
ところ 中央公民館(曾根東町)



市は今後、安心・安全に住み続けられる地域をつくるために、まず地域団体や住民がつながりを持ち、協力・連携できるように支援していくことが重要であると考えています。そこで、地域(小学校区)ごとにさまざまな団体や住民が集まり、今この地域に必要なことは何か、どんな活動に力を入れるべきかを「話しあって決める場」についてや、その取り組みへの市の支援、地域担当職員など、地域と市が協働で地域づくりに取り組むしくみを検討しています。

このように、地域ではさまざまな団体の人材や予算、情報、アイデア等の資源を持ち寄り、地域全体で役割や費用を分担することで、一つの団体だけでは実施することが困難な取り組みを可能にしています。今回紹介した地域に限らず、市内の各地で地域団体の連携・協力が進められています。こうした取り組みは、個々の団体の負担を軽減しながらも、各団体の持つつながりを活かしてより多くの地域住民に働きかけることができるようになります。

地域の自治のしくみを検討中です

多くの市民や団体が集まることによる相乗効果

各小学校区で活動する地域団体だけでなく、市内各地で活動するNPO等の市民公益活動団体にとっても、さまざまな団体との協力・連携は、事業の効果的な実施や活動の発展のための手段として有効です。活動内容や活動地域が同じ団体どうしはもちろん、専門分野の異なるNPOや地域団体、事業者などともつながりを持つことで、多様な経験を持つ人

たちが集まり、目的の実現に向けての大きな力になります。

市は、こうした取組みを支援し、市民の皆さんの公益的な活動がより活発に行われるようにするため、「とよなか夢基金」からの助成制度を設けています。この助成金を活用して、団体のネットワークを広げ、活動を充実させている事例を紹介します。

団体を越えたメンバーの連携がまつり発展の大きな力に

豊中和太鼓サークル連絡会

一人ひとりの意見を尊重した民主的な運営

毎年6月、服部緑地野外音楽堂で開催される豊中和太鼓まつりでは、豊中で活動する和太鼓サークルが集い多彩な演奏を披露します。10回目の今年は、千人近くの来場者で賑わいました。

現在11サークルのメンバーが参加しているこのまつりでは、全員が運営に携わることを大切にしています。「考えが甘かったり方向性がブレしていると、容赦なく厳しい指摘が返ってきます。メンバーみんなが情熱を持っている、それが私たちの強みだと思います。たくさんの方が集まれば、それだけたくさんの情報と知恵が集まるので、困ったことがあっても誰かが必ず助け舟を出してくれるんですよ」と、連絡会事務局の速水由三子さんは話します。

多くの人に支えられる自立したまつりに

当初は仲間内での演奏会でしたが、より多くの人に和太鼓に親んでもらおうと入場無料で一般公開することを決めました。相応の設備や集客の確保のため、市の助成金を活用するとともに、メンバーの知恵と技術、人脈を結集。資金繰りや広報といった事務方から、看板など備品の製作まで、適材適所の活躍は、まつりの運営に大きく貢献しています。



今年からは新たに、ワンコインスポンサーの募集(一口500円でまつりのスポンサーになれる企画)を始め、メンバーが知人や商店など地域の人たちを訪問。402人の賛同者が集まり、資金面での自立につながるとともに、地域の人たちに支えられる、地域に根差したまつりとしての第一歩を踏み出しました。

「新たなメンバーが加われば、また新しい風が吹きこまれます。考えが固定化してしまわないためにも、新しい人の意見はとても大切です。これからも継続して参加団体を増やし、活動を広げていきたい」と速水さん。現在は平成23年(2011年)6月5日に開催される第11回豊中和太鼓まつりに向けて準備を進めています。



発行

豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 (豊中市役所 第二庁舎3階)

TEL 06-6858-2727 FAX 06-6858-2667

メール community@city.toyonaka.osaka.jp

市ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/top/bousai/npo/index.html>